

## 1. 平成22年度における概況

### (1) 上水道事業

平成22年度末の事業数は29である。

全事業の現在給水人口は1,810,407人で前年度(1,781,284人)より29,123人(1.6%)増加している。

年間給水量は259,255千 $m^3$ で、前年度(254,654千 $m^3$ )より4,601千 $m^3$ (1.8%)増加しており、実績1日最大給水量も822,928 $m^3$ で、前年度(816,356 $m^3$ )より6,572 $m^3$ (0.8%)増加している。

給水収益は37,682,332千円で、前年度(36,940,722千円)より741,610千円(2.0%)増加し、給水人口1人あたりの水道料金負担額は、年間20,814円となっている。

年間取水量は265,417千 $m^3$ で、前年度(261,808千 $m^3$ )より3,609千 $m^3$ (1.4%)増加し、取水量に対するロス率は2.3%である。

年間有収水量は211,926千 $m^3$ で、有収率は81.7%である。年間有収水量を用途別に見ると、最も多いのは生活用の167,723千 $m^3$ で、次いで営業用の34,546千 $m^3$ となっている。

供給単価は167円/ $m^3$ で、前年度の値と同じである。

### (2) 簡易水道事業

平成22年度末の事業数は84である。

全事業の現在給水人口は69,043人で、前年度(92,135人)より23,092人(25.1%)減少し、年間給水量は11,206千 $m^3$ で前年度(14,032千 $m^3$ )より2,826千 $m^3$ (20.1%)減少した。

1日平均30,702 $m^3$ を給水しており、前年度(38,444 $m^3$ )より7,742 $m^3$ (20.1%)の減少となった。

年間有収水量は8,679千 $m^3$ で前年度(11,320千 $m^3$ )より2,641千 $m^3$ (23.3%)減少し、有収率は77.5%であった。

### (3) 専用水道

専用水道施設は132であり、現在給水人口は12,008人である。

132施設のうち、水源が「自己水源のみ」のものが58施設で現在給水人口は1,834人、それ以外の「他の水道事業から給水を受けている(自己水源との併用も含む)」ものは74施設で現在給水人口は10,174人である。